

# D I A M世界好配当株式ファンド（毎月決算型）

## <愛称：ハッピーインカム>

追加型投信／海外／株式

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じ、実質的に世界各国の株式（日本を除く）へ投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年6月22日～2022年12月21日

第149期	決算日：2022年7月21日	
第150期	決算日：2022年8月22日	
第151期	決算日：2022年9月21日	
第152期	決算日：2022年10月21日	
第153期	決算日：2022年11月21日	
第154期	決算日：2022年12月21日	
第154期末 (2022年12月21日)	基準価額	7,618円
	純資産総額	19,877百万円
第149期～ 第154期	騰落率	3.1%
	分配金合計	270円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

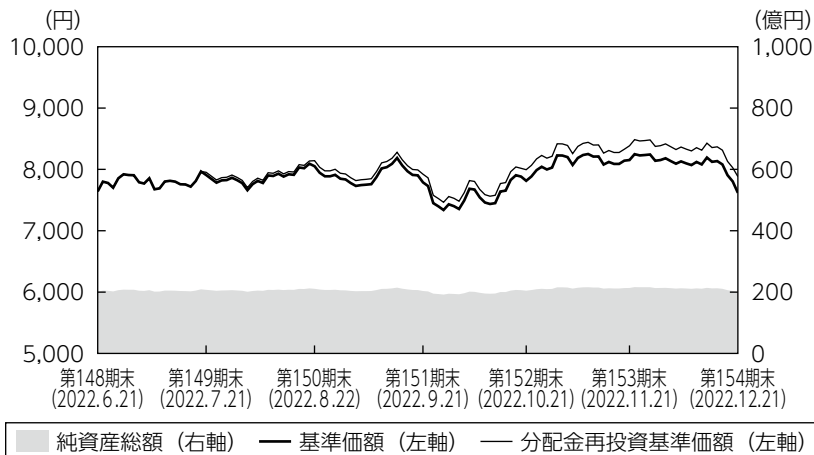
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第149期首： 7,642円  
 第154期末： 7,618円  
 (既払分配金270円)  
 騰落率： 3.1%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

主要各国におけるインフレ指標の軟化や金融政策に対する警戒感の後退、好調な企業決算を背景に株式市場が上昇したことに加え、配当利回りの高い銘柄が選好されたことから基準価額は上昇しました。一方で主要通貨に対して円高が進行したことが、基準価額の低下圧力となりました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第149期～第154期 (2022年6月22日 ～2022年12月21日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	48円 (23) (23) ( 3)	
(b) 売買委託手数料 (株式)	1 ( 1)	0.016 (0.016)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	1 ( 1)	0.008 (0.008)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	1 ( 1) ( 0) ( 0)	0.013 (0.011) (0.002) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	51	0.642	

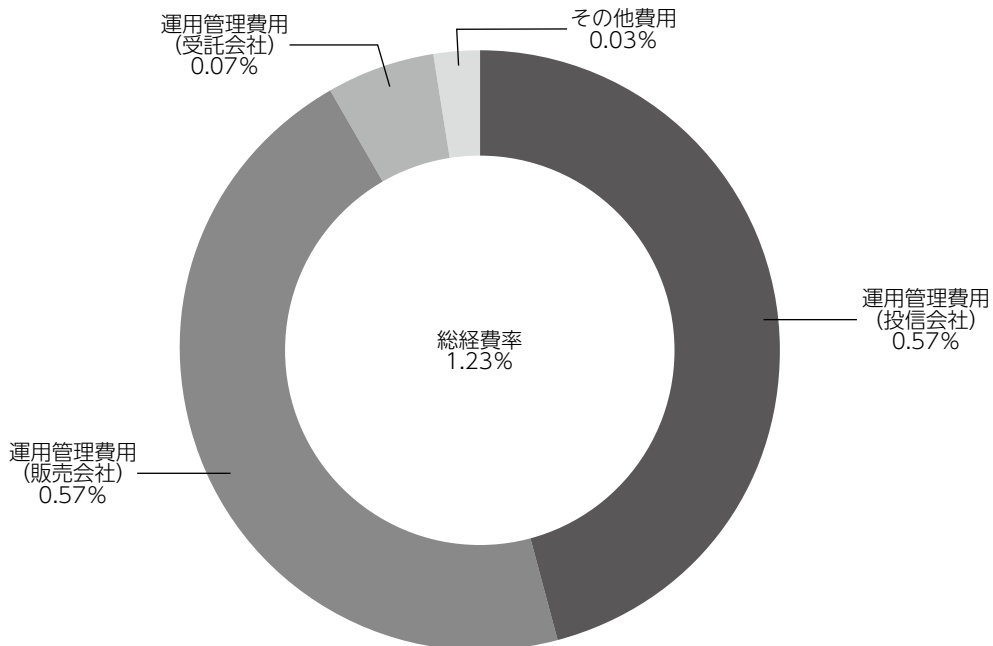
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**（参考情報）****◆総経費率**

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.23%です。



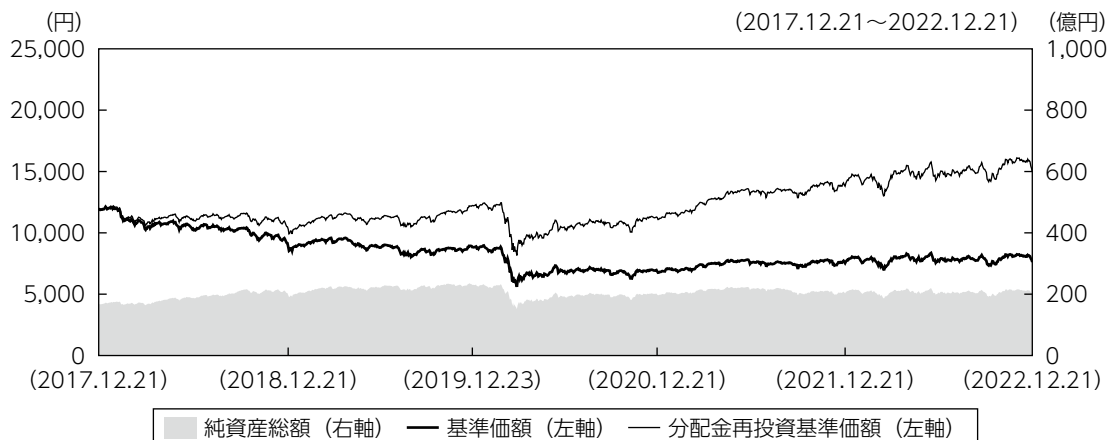
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年12月21日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2017年12月21日 期首	2018年12月21日 決算日	2019年12月23日 決算日	2020年12月21日 決算日	2021年12月21日 決算日	2022年12月21日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	11,851	8,856	8,834	6,857	7,522	7,618
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	1,560	1,560	1,200	820	540
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△13.2	18.8	△8.0	22.6	8.5
純資産総額	(百万円)	16,623	19,680	23,004	19,869	20,270	19,877

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

## 投資環境

外国株式市場は上昇しました。作成期初から2022年8月中旬にかけては好調な企業決算や米インフレ指標の軟化を背景に上昇しました。その後は、金融政策や景気に対する懸念から下落しましたが、10月中旬以降には企業の好決算やインフレ指標の軟化に加え、中国のゼロコロナ政策緩和期待などから再び上昇しました。

為替市場では主要通貨に対して円高が進みました。対米ドルでは、F R B（米連邦準備理事会）の積極的な金融引き締めスタンスを背景に2022年10月中旬まで円安基調で推移しましたが、その後は利上げ幅縮小への期待に加え、日銀が長期金利の許容変動幅拡大を決定したことから円高に転じました。対ユーロとポンドでは、作成期中は概ね一進一退の推移となりましたが、日銀の金融政策変更を受け、作成期末にかけて円高が進みました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

D I A M世界好配当株オープン・マザーファンドの組入比率を期を通じて高位に維持するよう運用しました。

### ●D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド

銘柄選択においては、「地域の分散」、「業種の分散」に着目し、世界の好配当株への投資を通じて、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の確保をめざした運用を行いました。地域別では、概ね前作成期末と同様の資産配分を維持しました。業種別では、幅広い業種に分散投資を行う中、ヘルスケアセクターや金融セクターに対する投資比率を高位に維持しました。

### ○組入上位10業種（2022年12月21日現在）

No.	業種	組入比率
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	20.6%
2	公益事業	9.8
3	銀行	8.8
4	保険	7.4
5	ソフトウェア・サービス	7.0
6	資本財	6.3
7	食品・飲料・タバコ	6.3
8	エネルギー	6.1
9	消費者サービス	4.4
10	素材	4.2

（注1）組入比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

（注2）業種は決算日時点でのG I C S（世界産業分類基準）によるものです。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期
	2022年6月22日 ~2022年7月21日	2022年7月22日 ~2022年8月22日	2022年8月23日 ~2022年9月21日	2022年9月22日 ~2022年10月21日	2022年10月22日 ~2022年11月21日	2022年11月22日 ~2022年12月21日
当期分配金（税引前）	45円	45円	45円	45円	45円	45円
対基準価額比率	0.57%	0.56%	0.57%	0.57%	0.55%	0.59%
当期の収益	18円	23円	8円	13円	45円	17円
当期の収益以外	27円	21円	36円	31円	-円	28円
翌期繰越分配対象額	2,342円	2,320円	2,284円	2,253円	2,319円	2,292円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、D I AM世界好配当株オープン・マザーファンドを高位に組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

### ●D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド

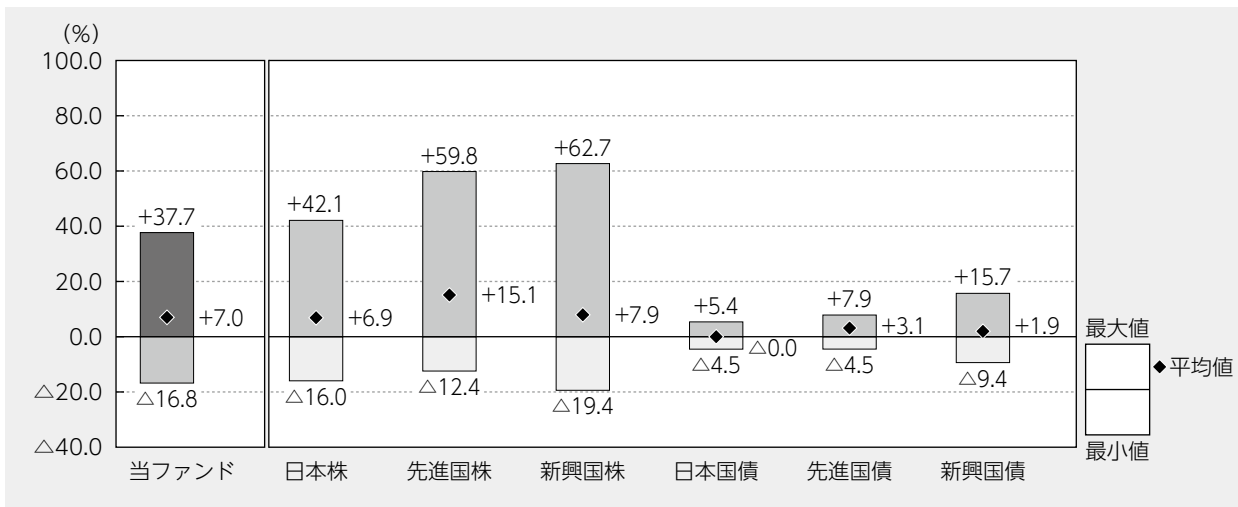
外国株式市場は、各国の金融政策を巡る思惑や企業業績への懸念などから短期的には不安定な相場展開も想定され、銘柄選択の重要性がより高まると考えます。配当利回りが市場平均以上であり、利益およびキャッシュフローの成長性が高く、将来的にも十分な配当が期待できる銘柄を選別する運用方針を継続します。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2010年2月1日から無期限です。	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	D I A M世界好配当株式 ファンド（毎月決算型）	D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド受益証券を主要 投資対象とします。
	D I A M世界好配当株 オープン・マザーファンド	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンドにおける組入銘柄の選定に当たっては、配当利回りの高い銘柄および 増配の期待できる銘柄を選定し、安定的な配当収入およびキャピタルゲインを享受す ることをめざします。 実質外貨建資産の為替ヘッジは、原則として行いません。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。	
分配方針	決算日（原則として毎月21日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配 当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向 等を勘案して分配金額を決定します。原則として利子配当等収益等を中心に安定分配 を行うことを基本とします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合 があります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年12月～2022年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2022年12月21日現在）

#### ◆組入ファンド等

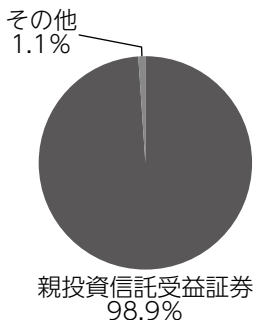
（組入ファンド数：1ファンド）

	第154期末
	2022年12月21日
D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド	98.9%
その他	1.1

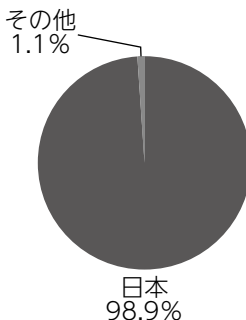
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

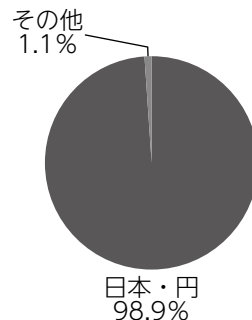
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	第149期末	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末
	2022年7月21日	2022年8月22日	2022年9月21日	2022年10月21日	2022年11月21日	2022年12月21日
純資産総額	20,736,342,975円	21,076,249,188円	20,356,509,649円	20,446,140,544円	21,328,438,482円	19,877,131,567円
受益権総口数	26,223,562,629口	26,176,522,574口	26,133,954,331口	26,163,053,793口	26,162,315,800口	26,093,364,437口
1万口当たり基準価額	7,908円	8,052円	7,789円	7,815円	8,152円	7,618円

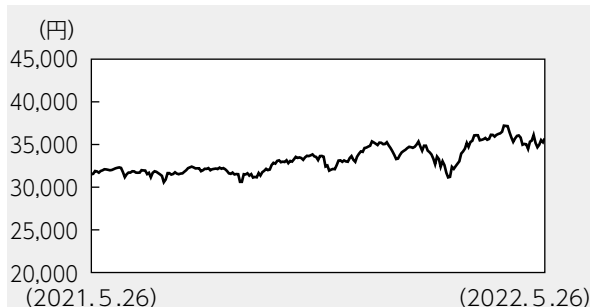
（注）当作成期間（第149期～第154期）中における追加設定元本額は927,639,691円、同解約元本額は1,065,801,191円です。

## 組入ファンドの概要

[D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド]

(計算期間 2021年5月27日～2022年5月26日)

### ◆基準価額の推移

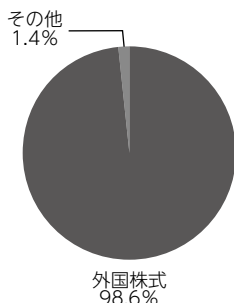


### ◆1万口当たりの費用明細

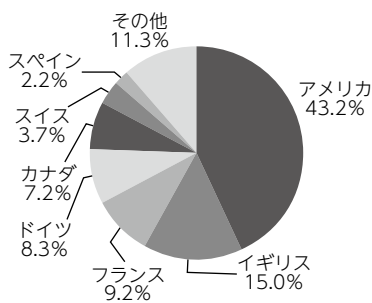
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	13円 (13)	0.038% (0.038)
(b) 有価証券取引税 (株式)	9 ( 9)	0.026 (0.026)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	6 ( 6) ( 0)	0.019 (0.018) (0.001)
合計	28	0.084

期中の平均基準価額は33,264円です。

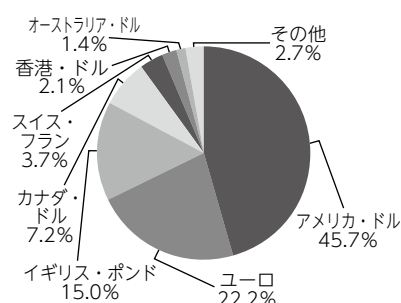
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ・ドル	3.6%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.2
METLIFE INC	アメリカ・ドル	2.9
MERCK & CO.INC.	アメリカ・ドル	2.8
MASTERCARD INC	アメリカ・ドル	2.7
NOVARTIS AG-REG SHS	スイス・フラン	2.4
CHEVRON CORP	アメリカ・ドル	2.4
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	2.3
GSK PLC	イギリス・ポンド	2.2
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	ユーロ	2.2
組入銘柄数	82銘柄	

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。